



## 【堅固で美しい人生の家の建築を望まれる神】

聖書本文:マタイの福音書7章21-29節

説教者:鄭南哲牧師  
(Rev.Jung Nam-Chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！不安定な天気が続いた一週間、また最近再び新たなコロナの変異株(BA.5)による感染拡大の歯止めが掛からない状況が続く中、一週間もみんなお元気でしたか。どうか引き続き今週にも教会家族みんなの健康と主の見守りを切にお祈り申し上げます。これからも、もし体調の具合が悪く、対面より、オンラインを通して礼拝を捧げたい方は、遠慮なく牧師か、牧者の方々にお伝え下されば、2部礼拝(10時・ライン映像通話式)に配信させて頂きます。

今日の本文は有名な山上でのイエスキリストの御教えの結論のところでは、そういうわけで本文の始めで**24節**を見ますと、“**ですから**”で始まっています。これは御教えの結論を意味していることが分かります。つまり、その結論というのは、イエス様は弟子たちに実際どうすれば、神の豊かな恵みと祝福を実際頂き、幸いな人生を歩むことが出来るのかについてその結論を教えて下さっています。

神様は、一度の大切な自分の人生に対して、家を建てることにたとえながら、全ての人々が許された自分の人生の家を堅固で、美しく建てていくことを望んでおられ、喜ばれるお方であることが分かります！

しかし、結局のところ、その倒れず、揺らぐことなく、堅固で美しい人生の家を建てるためには、その人生の家がどこに建てられていて、その支えている基礎と土台にかかっていることがもっとも大切であることをイエス様は強調して教えて下さっています。

イエス様は今日の本文の御言葉をとおして、この人生の基礎と土台の大切さについて強調するために、建てられた二つの家のたとえ話をされています。一つの家は砂の上に、もう一つの家は岩の上に建てられました。砂の上に家を建てた人をイエス様は愚かな人生だと言われ、岩の上に家を建てた人を賢い人だと言われました。

## 1. 岩の上に建てられ揺るがない堅固な家の土台:人生の図面(設計図)となる神の御言葉、聖書

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん、早速、結論として、そして、巨大な岩のような上に建てられ、揺るがず、倒れない人生の家のその基礎、土台というのはいったい何だとイエス様は教えて下さいましたか。

神の御言葉なる聖書こそ、変わらない全ての人生の家の変わらない基礎であり、人生を支えてくれる土台であることを教えて下さっています。

**24節**を共に読んで見ましょう。「**ですから、わたしのこれらのことば**を聞いて、それを行なう者はみな、**岩の上に自分の家を建てた賢い人**にたとえることができます。」

この箇所で強調されている単語が「わたしのこれらのことば」です！イエスキリストは**わたしの御言葉を！神とイエスキリストのお言葉、聖書を土台として、建てられた人生の家こそ、堅固で揺るがない家**となることを大切に教えて下さっています。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！家や建物を建てる建築家にとって、一番必要で大切なものは何なのかご存じですか。図面！設計図ではありませんか。素晴らしい家や特別な価値ある建物であればあるほど、建築家たちは、自分勝手ではなく、必ず、図面、設計図が絶対必要であり、そして、その図面通り絶対信頼し従って、家を図面通り施工(しこう)し、ついに完成出来ると同じように、神の御言葉は、イエスキリストがすべての人に語り、与えて下さった聖書の御言葉こそ、人生の家をもっと美しく、素晴らしく建てて行こうとすればするほど、自分勝手ではなく、神が我らに与えて下さったこの聖書、人生の設計図通り、人生の家を建てるべきであることを、イエスキリストは教えて下さっています。

神様は、全ての人々が、一度の大切な自分の人生の家を美しく建てられ、またその家が守られ、救われ、我らの家の土台となる完全なる設計図として与えて下さったわけであり、人生の様々な戦いや思わぬ困難な時に直面した時、よく耐え、守られ、乗り切るために与えられている人生の取り扱い説明書がまさに神の御言葉、聖書であることを教えて下さっています。神様が我らに完成された神の御言葉、この聖書を与えて下さったのは、思わぬ人生の試練と苦難の中であっても、どんな人生の試練の嵐の中であっても、神の御言葉を通して、揺れることなく、守り続けられ美しい人生の家を保つことが出来るためでした。

\*テモテへの手紙第2章15-17節で「聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。16聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。17神の人が、すべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。」

\*詩篇119篇50節「これこそ悩みのときの私の慰め。まことにあなたのみことばは私を生かします。」

\*詩篇119篇105節「あなたの**みことば**は私の足のともしび、私の道の光です。」

\*詩篇119篇107節「私はひどく苦しんでいます。主よ、みことばのとおりに私を生かして下さい。」

\*エレミヤ書29章11節「わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている。主のことば。それはわざわざいではなく、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」

\*ヘブル人への手紙4章12節「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分け

**るまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。」**

**神の御言葉、聖書こそ、我らの人生の家を素晴らしく建てていくために、神様から直接我らに与えられた完全な設計図です。**だれでも、どんな弱い人生であっても、どんな辛い過去があり、苦しい人生を歩んで来た人であっても、どんなに足りないと思われている人であっても、この神様がすべての人々に自分の人生の家を美しく堅固に設計することが出来る聖書の御言葉を与えて下さいました。だれでもこの神様からの設計図なる御言葉を働かしで利用することも、使うこともできるのです。人生の土台となる御言葉の上をしっかり建てられている人生は守られます！救われます！

## **2. 人生の設計図(聖書)通り建てて行かなければなりません！**

**建築家が図面をいくらたくさん見たとしても、その図面通り従って、徹底的に図面通り施工(しこう)し、建てていくことは当然なことでしょう。そうしなければ、手ぬき工事によって、不実(ふじつ)で、不良な建物になってしまい、しばらく見た目には気づかなくても、いつか、必ず時間が経つにつれ、特に大雨や、台風や地震など続けられているうちに、徐々に雨漏れや裂け目が出来、壁などにひび割れが起こり、建物が偏ってしまったり、ついに激しく倒れたりするさまざまな事故や被害のことを聞いていらっしやると思います。**

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！いくら神様が我らの人生を愛され、我らの人生を救い、守り、幸いな人生に導く素晴らしい図面、設計図が与えられ、それを手に入れたとしても、その通りではなく、適当に、自分勝手に建てて行くなれば、その設計図、図面って意味があるのでしょうか。その価値が分かるはずがないでしょう。

つまり、自分勝手な思い通りではなく、徹底的に専門家が書いた通り、図面、設計図通りに守り行わなければ、従わなければ、岩の上をしっかり建てられて人生の家を建てられている状態にならない事を今日の御言葉はよく教えて下さっています。

もう一度本文、**24節**を共に読んで見ましょう。

「ですから、**わたしのこれらのことば**を聞いて、**それを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人**にたとえることができます。」

この箇所で強調されている次のことばは、みことばを聞いて、「**それを行う者**」です。つまり、**神の御言葉を聞いた後、その神の言葉通り実際行なうこと、イエスキリストのお言葉を設計図として、その御言葉に従って守り行って生きることこそ、岩の上に自分の人生の家を建てられた状態となることをイエス様は明確に教えて下さっています。**

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！もし、今まで聖書の御言葉をいくらたくさん聞いても、**学んだりしても、自分の人生や生活、自分の家庭が変わってない理由があるとすれば、**イエス様は指摘して下さい「それを**実際行う**」ところまで進まなかったからではないでしょうか。

特に、我らが実際に神の御言葉に従って守り行っているのかどうか、一番分かりやすい時はいつなのかご存じでしょうか。平気の時、普通の時ばかりですが、**思わぬ人生の嵐の中試練や苦しみが続いたり、アクシデントに直面したり、自分ではどうしようも出来ない問題にぶつかっている時に、ようやく人はどれほど今まで自身が神の御言葉の上に人生の家をしっかりと建てられて来たのか明らかにされます。**人がすぐ恐れや不安になり、挫折に陥り、人生の揺れが激しくなり、すぐ倒れそうになる理由について、**イエス様は、神の御言葉聖書はよく聞いてはいますが、その御言葉通りに徹底的に守り行ってないため**であると教えて下さっています。

実は、もっと神の前で正直になると、**わたくしも含め、罪人である我らみんな、聞いたり学んだ神の御言葉に徹底に従おうとするより、自身が正しいと思い込んでいる通りや、自身の価値観でもっと大事だと思い込んでいる通り、先に決め、進もうとする傾向があるのではありませんか。**なぜでしょうか。時に自分の願いや思いと違い、自分が慣れてない神の御言葉通り従うのが面倒くさくて、**負担や不便だからかも知れません。**それより、今まで自分なりなれて来た、やって来た思い通り、感じる通り、経験して来た通り、**やるのが断言気楽で、便利で、やりやすく、すでに慣れているから、そのように人生の家を建てて行こうなって来たところはないでしょうか。**

頭では聖書が神の御言葉であることを知りながらも、日々実生活の中で、**実際人生の家を建てていく中で神の御言葉通り生かせず、建てているのため、何か思わぬ人生の試練が訪れ、耐えがたい困難の時に直面してしまうと、揺れが激しく、倒れやすくなってしまう場合を体験している方々もいらっしやると思います。**

愛する信仰の家族のみなさん！いくら素晴らしく完璧な設計図や図面を手に入れたとしても、**実際家を建てようとする人がその設計図通り施工(しこう)せず、その通りに建て上げていかなければ、設計図のある意味がなくなってしまうでしょう。**いくら高価な素晴らしい設計図を手に入れても、家を建てる人が結局、設計図を後回しにし、自分勝手に、適当に自分の思い通り、家を建てて行くと、しばらく問題がない時には全然問題なさそうに見えても、後で思わぬ問題に直面した時に、**大変な目におわれて、後悔してももう遅くなってしまふことに共に気をつけましょう。**

**嵐のようなコロナ禍の約3年、またコロナ感染も最多を記録している中、まさに今、こんな大変な時代を通りながら、生きておられる神様が、我らに何を望んでおられるでしょうか。**

この嵐の時をとして、私含め、みんな神の御前で、もし、今まで、**適当な礼拝の生活、御言葉に対する生活、適当な信仰生活、**



適当な祈りの生活など霊的に鈍感になり、妥協しつつマンネリ化になってしまうところはないのか、もう一度、真剣に自分を真剣に振り返り、冷静に自分の人生の土台と基礎が、神の御言葉の上にしっかり建てられているのか、点検するように、もう一度立て直すことが出来るように我らに促して下さっているような気がします。

\*ヤコブの手紙1章22、25節「**22みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。25すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。**」  
人生の家の大きな違いは、結局、どれほど神の御言葉通りに徹底的に従って行いつつ、日々生きるかにかかっているのです。神の御言葉通り従って生きることは、そんなに大切に見えないかも知れませんが、結局、自分の人生の家を堅固に、美しく建てられ、いつも守られるかどうか、真の巨大な岩のような人生の基礎と土台となることだと教えて下さっています。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族みなさん！神の御言葉通り人生の家を建てて行くことは、まだ我らにまだ慣れないだけで、必ず、御言葉通り、徹底的に信じて、従って行っていけば、神は困難の時耐えるぐらいではなく、神が聖書に約束されている全ての祝福と恵みを我らに与えて下さると聖書で多く約束され強調されています。

\*申命記28章1-14節中「**もし、あなたが、わたしの神、主の御声に確かに聞き従い、私が今日あなたに命じる主の全ての命令を守り行なうなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高く上げられる。2あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに望み、あなたについて行く。6あなたは入る時にも祝福され、出て行く時にも祝福される。13私が今日あなたに命じる、あなたの神、主の命令に聞き従い、守り行なうなら、主はあなたをかしらとし、尾(お)とはされない。あなたはただ上になり、下になることはない。(～14節)**」

\*申命記30章2-5節「**あなたの神、主に立ち返り、きょう、私があなたに命じるとおりにあなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くして御声に聞き従うなら、あなたの神、主は、あなたの繁栄を元どおりにし、あなたをあわれみ、栄えさせる(新改訳第3版)**」

\*ルカの福音書11章28節「**イエスは言われた。「幸いなのは、むしろ神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」**」

### 3. 砂の上の家と岩の上の家の共通点

砂の上に家を建てた人も、岩の上に建てた人も、みんな共通家を建てる必要を認識していたことです。

家というのは人にとって、あったら良いし、なければ別にいらぬ贅沢な物ではなく、生きるための必需品です。

広い家か、狭い家か関係なく、人が生きるために、家族が日々生活をしていくためには必ず、なければならぬものです。

イエス様はここで神の御言葉通りに従う守り行う信仰の生き方を、なぜ家を建てる過程に例えたのでしょうか。

それは、例外なく、全ての人の人生の家の建てて行く人生の中で、もっとも大切なことだからではありませんか。神の御言葉を聞き従うことは、贅沢なことでもなく、時間やスケジュール的な余裕がある時、聖書を読んだり、教会に来て礼拝したり趣味ぐらいの適当にしても良いようなことではない、人生の中で欠かせないもっとも大切な事であるためだと教えて下さっていることが分かります。

もう一つの共通点は、各自二人によって二つの家がそれぞれ建てられて、形はちゃんと完成されました。

イエス様は二つの種類の人がいることを今日の本文では教えて下さっています。賢い人と愚かな人が完成した二つの家は見た目には家の形や表はそんなに違いなく、似たように見えて、そんなに差もなかったように推測できます。おそらくざっと見ると愚かな人が建てた家も、賢い人が建てた家も両方とも表では似たように完成したように見えます。

むしろ、ある面では、今日には、砂の上に家を建てた人がきっと岩の上に建てた人より、もっと優れた能力を持っているかのように効率高く、速やかに建てたはずでしょう。

反面、岩の上に基礎をしっかり整って、その上に家を建てた人よりも、砂の上に家を建てたものはかなりの時間を節約し、ささっと家を建てていたのだから、今日で言えば、その分かったコストも安く、人手も少なくかかり、むしろ、家の外見の方にもっと余裕を持って家を建てられたとすれば、もっと派手やかなデザインで建てられた可能性が高いのではないのでしょうか。

今日、過程(プロセス)よりも、我らのこの社会もすぐ見える結果と見た目ばかりを求め、重要化する傾向があります。

人の人格、生き方よりも、うわべで、人のすべてをすぐ評価しようとする傾向があるでしょう。そのため、教会の中でさえも、人の見た目やうわべ、持っている学歴、見える家、車、聖書知識などだけで、その人の信仰というものも判断してしまいがちの過ちを犯してしまう可能性に注意しなければなりません。その人が実際聖書通りにどう従って行っているのか、御言葉通りの生き方がどうなのかが重要なのです。

今日の本文には、イエス様はその面について指摘してくださっているのです。愚かな人と賢い人、この二人の家は見た目に、外見上にはあまり差も、違いもそんなに見えなかったことです。

しかし、人の目にはいくら、表では似て、外見上では同じ形を建てられている同じ人生の家のように見えても、イエス様ははっきりと見分け、よく見極めて下さっています。今日の本文21-22節をご覧になりますと、イエス様は人の前で、表では偉そうに見せながらも、実は偽善的で、二重的なパリサイ人たちなどの信仰の姿を叱りながら、こう語って下さっています。

「わたしに向かって『主よ、主よ』という者がみな天の御国に入るのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行う者が

入るのです。』(マタイの福音書7:21)

主よ、主よと行いのない言葉だけで、心のない、見た目だけの人たちが天国に入るのではないと断言におっしゃいました。その後、**22節**のイエス様のお言葉はもっと衝撃的です。「その日には多くの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私たちはあなたの名によって預言し、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの奇跡を行ったではありませんか。』

つまり、イエス様の御名によって、病人の人が癒され、イエス様の御名によって預言もします。キリストの御名によって悪霊を追い出せる奇跡も行なう姿までも見せました。けれども、ここでまた衝撃的、イエスキリストはこのような人たちに向ってこのように厳しくおっしゃいました。**23節**では、「しかし、わたしはそのとき、彼らにはっきりと言います。『わたしはおまえたちを全く知らない。不法を行う者たち、わたしから離れて行け。』」

例え)アメリカのクリスチャンのベストセラーの本の中カイル・アイドルマンという方が書いた「ファンか、弟子か(Not a fan)」という本にはこのように書いてあります。「ファンは、犠牲を払うことなく、楽しむことだけを願います。だからといって、イエス様との関係を望まないわけではありません。ただ、冒険までしようとしただけです。ファンは、イエス様にこのような誓いを連発します。『状況が良く、あなたが契約条件をきちんと守って下さる限り、あなたに従います。私にあまりに多くのことを要求しない限り、あなたに従います！』ファンは、もしかしたら、自分に被害があるのではないかと恐れ、イエス様に心から従うことが出来ません。ファンは、イエス様との関係のために、自分のお金や時間、エネルギーをすべて注ごうとはしないのです。」我らがキリストの弟子として、神に用いられたいと願うなら、湖を渡ろうと言われるイエス様に従って、船に乗り込まなければなりません。時には嵐も覚悟しなければなりません。船が揺れている時、主が深く眠っておられるようで、恐怖に襲われるかも知れません。しかし、その瞬間も、イエス様が御言葉の約束通り、行く先の手となり、どんな困難があっても、私たちが目的地まで導いて下さるということ信じなければなりません。主は我らを群衆の一人のファンではなく、真の弟子となるようしばらくの強風にもビクともしない信仰の持ち主へと導く為、時には困難な夜もお与えになるのを忘れないで下さい。最近、皆さんはいかがでしょう。

**我らが忘れてはいけない大切なポイントがもう一つあります！それは、砂の上の愚かな人生の家に、岩の上に賢い人生の家にも、嵐は、両方にも襲って来たということです。**人生の中で、キリストを信じるものであっても、信仰を持ってない人々であっても、この世の人生の生きているうちには、思わぬ試練や苦難に、混乱に巻き込まれ、襲われる時は何度も起こりうるかも知れません。ですから、我らが注意すべきなのは、突然のそのような苦しみや失敗の中にいる人々に対して、むやみに、勝手に信仰が足りないとか、祈りが足りないからだとか、決してそう判断しないように共に気を付けましょう。

もしも、コロナに感染された人に対しても、神の罰とか、その人が足りから、悪いからとか勝手に、むやみに言わないように絶対気を付けましょう。我ら自身や家族にもいくら思わぬ試練や困難の時がこの世の中生きているうちに何度も襲って来る時があるかも知れません。大切なのは、**激しく揺らぐか、激しく倒れるか、流されてしまのか、あるいは、変わらず守られ、忍ばれ、生き抜けることが出来るかどうか**が本当に重要であることを覚えておきたいと願います。

#### 4. 賢い人と愚かな人が建てた二つの家の違い

それでは、いったい砂の上に建てられた家と岩の上に建てられた家は違うところは何でしたか。

**もっと本質的なことなのです。**イエス様は結局今日の本文のたとえ話の話を通してその違いを強調し、教えて下さろうとした重要なポイントであるでしょう。

**始め、イエス様はこの二つの家を建てる過程にかかった努力の違いについて例えて下さっています。**

砂の上に建てられた家は、岩の上に建てられた家と比べると、全然楽にそれとも早く建てられたと思います。しかし、岩の上に建てて置いたその家は基礎を整っていくための工事でどれほどの苦勞と、時間がかかって努力したのでしょうか。きっと砂の上の家よりは、はるかに多くの時間、汗、エネルギーと苦勞しながら、建てていたはずでしょう。

おそらく、岩の上に建てようとしていたその家の基礎を建てるうちに、砂の上に建てる家の人はすでに家の形までほとんど建てて、もうすぐ完成を目前にしていたかも知れません。そうしながら、しばらく結果が見えず、必死に岩の上に家を建てようと努力している人たちの姿を見て、あざ笑いながら、かえって“お前たちはね、本当に愚かな者じゃないか。頑張っても結果が見えないね。今の時代ではお前たちは手遅れだよ。そんなに時間があるの。何でそこまで苦勞するなよ。非効率的じゃないのか！”とさげすんだかも知れません。今の忙しい時代、スピードを重要とする時代の中で、いつまで基礎ばかりに建てようとしてそんな長く、貴重な時間を費やすつもりかと、まるで自分たちが賢くて、岩の上に家を立とうとする人たちはまさに愚かなアホみたいに扱われるかも知れません。

今日の本文には岩の上に建てられた家にかかったエネルギーについて描写してはませんが、今日の同じ御言葉の内容が書かれているルカの福音書を読んで見ると、今日の本文の表現とはちょっと違って書かれていることが分かります。

**「その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せても、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。」**(ルカの福音書6章48節)

ルカの福音書ではただ岩の上に建てたではなく、何が強調されていますか。

**「地面を深く掘り下げ、しっかり岩の上に土台を据えた」と**強調されているでしょう。

多くのエネルギーと時間、努力がかかっても、神の御言葉通り従って徹底的に守り行うことこそ、人生の家の基礎、土台をしっかり整え、その上に揺るがない人生の家を建てて行くことの大切さを教えて下さっています。



**\*みなさん、工事の終了時、建物が完成すると「竣工(しゅんこう)検査」あるいは、「完了検査」とも言われる最終検査が必ず行われます。見える外構も含めて内部、見えないところまで全部、図面通り、建築基準法に基づいて建てられてたのか、不具合がないのか厳しく最終チェックする検査のことです。**

**いつか我らも、一度の人生を終えた後、神の御前に立たされる時が来ると、全てを知っておられる神の御前で、必ず、神から我らに与えられた人生の図面御言葉通り守り行って来たのか、一度の人生の家を建てて来たかどうかチェックされ、問われる時が来るでしょう。**

**二つ目の賢い人の家と愚かな人の家の一番の大きな違は思わぬ、突然の試練が訪れた時、よく耐え、守られ、乗り切るかどうかのことでした。本文25節を読んで見ると、突然、洪水が押し寄せて来ます。そして、突風のような強いがその家に打ちつけます。ついに二つの家はめっきり違いが表されます。砂の上に建てられた家は激しく揺らぎ、倒れが激しくなってしまいます。しかし、岩の上に建てられた家は、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。**

**ここで大雨、洪水、嵐は何を念頭にしてイエス様がおっしゃったと思いますか。そうです！**

**それは人生の中で、いくらでも起こりうる思わぬ様々な試練、耐えがたい激しく襲って来る苦難のことなのです。**

**例え)みなさん、仕事の中で宝石鑑別者という職業があるでしょう。特にあるダイヤモンドの鑑別者たちから本物のダイヤか、偽物がを分別する時、とても簡単に見分ける方法があります。ダイヤを水の中に入れて見ると、その瞬間偽ダイヤは水に入れる前はぴかぴか光っていたものが、水の中に入ると、すぐその光を失うようです。しかし、本物のダイヤは水に入れなくても、水の中に入れても関係なく、本物のダイヤの光が変わらずありのまま輝いているようです。**

**今日のメッセージを閉じたいと思います。岩の上に、神の御言葉をしっかり土台として建てられて行く人の人生の家は、思わぬ試練があっても、逆境の中であっても、信仰の光は輝き、変わりありません！よく変わる人や環境ではなく、変わらない真理の御言葉へ神の約束と神への絶対信仰を握り保っているからです。**

**今、我らの人生の家の基礎、土台はどうなっているでしょうか。神の御言葉の岩に深く掘り下げているのかどうか点検する必要があるではありませんか。最近色々な問題と悩みで、激しく揺らいでいる自分の姿はないでしょうか。**

**愛するクリスチャンプレイズチャーチの家族のみなさん！今もすぐ倒れそうな砂の上に人の家を建てる人もいれば、揺るがない岩の上に建てた人生の家を建てていく人もいます。根本的な差といえば、その基礎、土台の差にありました！だから、この基礎ってどれほど人生の中で大切ですか。時間がかかっても、変わらない神の人生設計図である聖書の御言葉にもう一度今日から新たに生活や行うの全ての基礎と土台として深く、しっかり根付かせ、一層主に祝福され守られて生き抜いて進み行く賢い人生の建築家たちとみんななりますようにお祈り申し上げます！**

**神様は、一度の大切な自分の人生に対して、家を建てることにたとえながら、全ての人々が許された自分の人生の家を堅固で、美しく建てていくことを望んでおられ、喜ばれるお方であられます！**

**ですから、まだ全然遅くありません！今日からもう一度ご自身の人生の家の土台と基礎を点検し、神の御言葉通りに土台を作り、建てて行く賢く人生の家の建築家たちとなるクリスチャンプレイズチャーチの全の神の家族となりますようにイエスキリストの御名によって祝福します！「わたしのこれらのことばを聞いて、それを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人だ！」と主イエスキリストは、評価される我らとなりますように切にお祈りいたします。アーメン！**

## 【今日の祈り】

**“主よ。今日からももう一度神の御言葉の岩の上にわたしをしっかりと建たせて下さい！**

**今年も我が人生が、我が家庭が、我が子供たちが、われらの教会と家の教会家族が、思わぬどんな大雨、洪水、嵐のような試練や苦しみが襲っても、神の御言葉の上にとりて建てられていたので、びくともしない揺るがない人生の家を建てれるように助けて下さい。**

**神の御言葉にしっかりと根ざし、イエスキリストの御言葉を日々の生活の中で、ちゃんと生かし、実践し守り行えるように私を助けて下さい。いつも御言葉から離れないように私を助け導いて下さい。聖書の御約束通り、いつも我らと共におられ、御守って下さい。日々御言葉の光の中で主と共に歩み、神の御言葉通り従って行い、人生の最後まで美しい人生の家を建てた賢い人生の建築家となりますように祝福して下さい。愛する主イエスキリストの御名によってお祈り致します。アーメン！**

